

2025 年 5 月 13 日

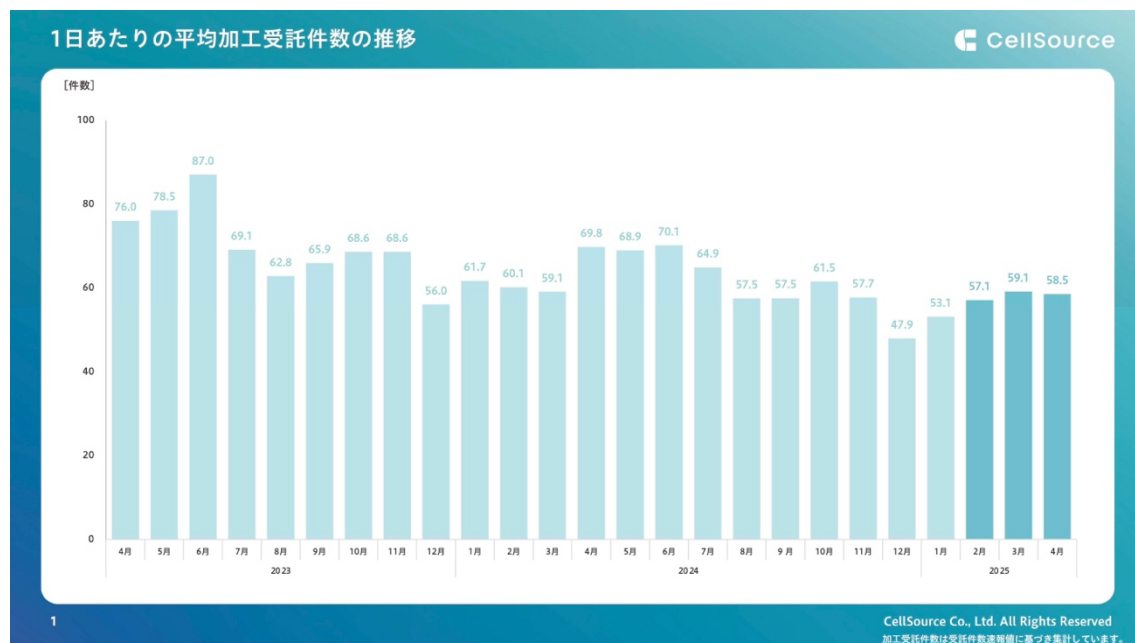
各 位

会社名 セルソース株式会社
 代表者名 代表取締役社長 CEO 澤田 貴司
 コード番号 4880 東証プライム
 問合せ先 執行役員 コーポレート本部長
 伊賀 智洋
 TEL 03-6455-5308

2025 年 10 月期 4 月度月次 KPI 速報

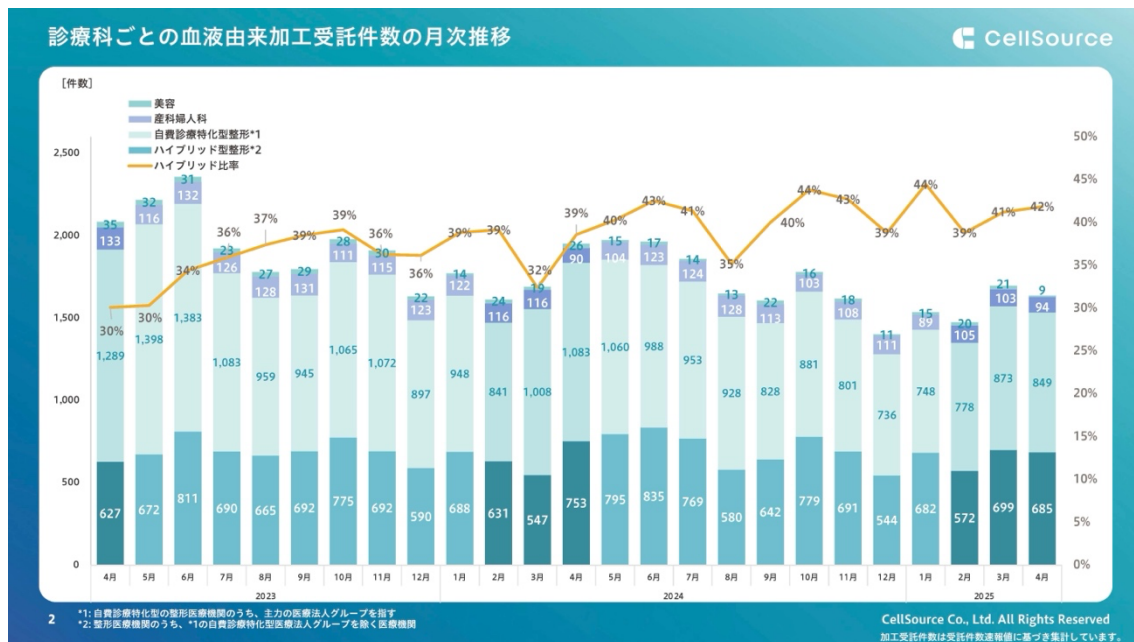
2025 年 10 月期 4 月度の当社加工受託サービスに係る KPI と解説を以下の通りお知らせいたします。なお、数値は速報値であるため、四半期報告等で修正される場合があります。

1. 1 日あたりの平均加工受託件数の推移



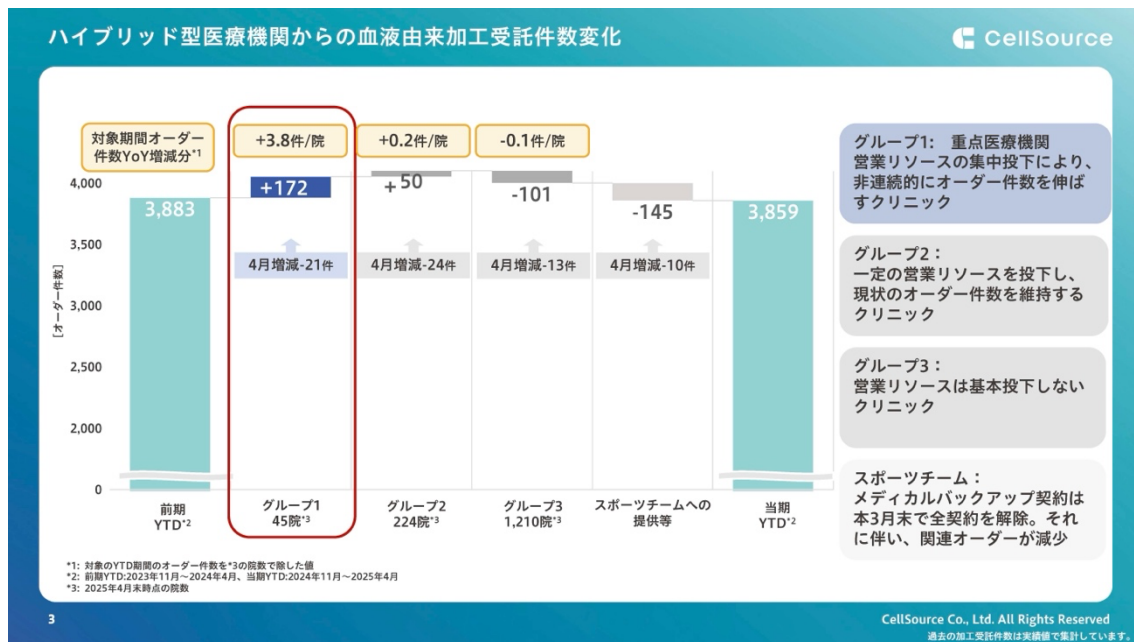
- 1 日あたりの平均加工受託件数は 58.5 件と、3 月とほぼ同水準であり、復調傾向を維持。
- 脂肪由来幹細胞加工受託件数と整形外科以外の診療科向けの加工受託件数が前月より減少したものの、主力事業である整形外科向けの血液由来加工受託件数はほぼ横ばいで推移。

2. 診療科ごとの血液由来加工受託件数の月次推移



- 2025年4月の診療科ごとの血液由来加工受託件数は、自費診療特化型整形向けが前月比2.7%減の849件、ハイブリッド型整形向けが2.0%減の685件となった。
- 自費診療特化型整形外科については、医療法人向け経営支援事業の稼働が本格化。下半期に向けて当医療法人の組織体制強化を支援し、今期計画であるオーダー件数維持(800-900件/月)に注力。
- ハイブリッド型整形外科については、引き続き重点医療機関への施策を実施中。詳細は後述。
- 産科婦人科・美容については前月比それぞれ減少したが、月次の変動幅の範囲であり特筆すべき事項はなし。

3. ハイブリッド型医療機関からの血液由来加工受託件数変化



- 前年4月はPFC-FD 2.0導入によるオーダー件数の一時的増加があり、前年同月比でみると総オーダー数は減少。
- 重点医療機関で構成される「グループ1」は、これまで進めてきたリソース集中投下が着実に成果を上げている。今後5月以降もこれら重点医療機関に向けた施策を継続し、更なるオーダー件数伸長を目指す。
- 一定の営業リソースでオーダー件数維持を目指す「グループ2」は、3月に比べて月間アクティブ率（当該月に1件以上のオーダーがあった医療機関の比率）は改善した。「グループ2」は安定的にオーダーを出している医療機関であり、引き続き事業の安定基盤と位置付ける。
- 約1,200院が属する「グループ3」は、営業リソースを基本的に投下しないながらも、前年同月比ほぼ横ばいで推移している。
- 「スポーツチームへの提供等」を除けば、引き続き対象期間オーダー件数の前年同期比でオーダー数は増加。
- また、高単価商品であるPFC-FD 2.0の比率が65%（4月）まで上昇（昨年4-10月のPFC-FD 2.0比率は46%）しており、利益率も改善傾向。

【セルソース株式会社について】

再生医療の産業化推進を目的とし、脂肪由来幹細胞・滑膜由来幹細胞・血液の加工受託や再生医療を提供する医療機関さまへの法規対応サポート等の再生医療関連事業を展開しています。再生医療等安全性確保法にもとづく特定細胞加工物製造許可施設（施設番号：FA3240004）にて100,000件超の細胞等加工を受託しており、豊富な実績をもとに医療機関さまに安心してご利用いただけるサービスの提供と、研究・技術開発に努めています。

ホームページ：	https://www.cellsource.co.jp/
IR ライブラリ：	https://www.cellsource.co.jp/ir/documents/
公式 note：	https://note.cellsource.co.jp/
IR に関するお問い合わせ：	https://www.cellsource.co.jp/contact/index_ir.html

以 上